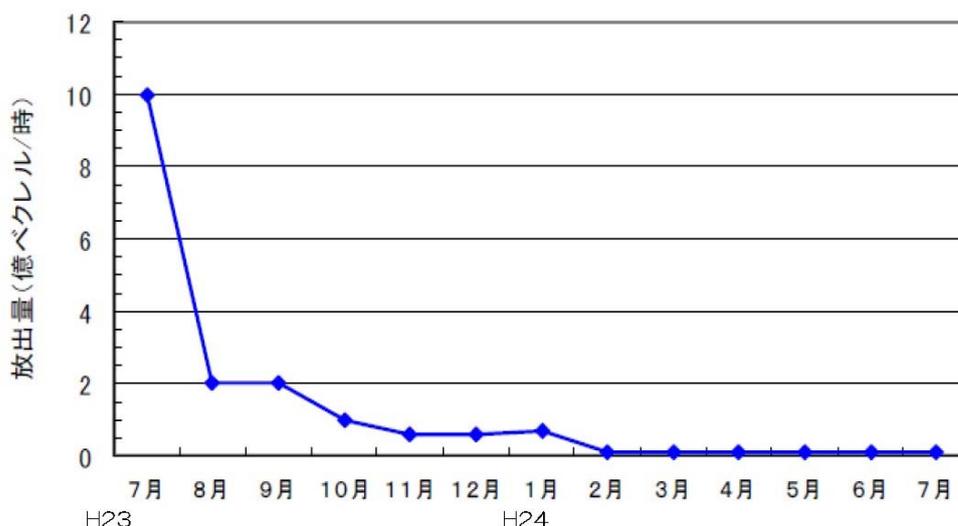

QA5 福島第一原子力発電所から放出されている放射性物質の量は少なくなっているのですか

現在の東京電力福島第一原子力発電所の1～3号機から放出されている放射性物質の量は、測定を開始した平成23年7月に比べて格段に少なく、放射性物質の量を監視しているモニタリングポストの値も、安定した状態で推移しています。

東京電力福島第一原子力発電所の建屋上部などで採取した空気を分析し、同発電所1～3号機の原子炉建屋から放出されている放射性物質（セシウム）の量を評価しています。その値は、平成24年7月時点で1時間あたり約0.1億ベクレルであり、平成23年7月の量（1時間あたり約10億ベクレル）の約100分の1にまで低下しています。また、この時点での被ばく線量は東京電力福島第一原子力発電所の敷地境界において0.03ミリシーベルト/年と評価しています。（これまでに放出された放射性物質の影響を除く）

また、東京電力（株）は、敷地境界付近に設置したモニタリングポストにより、常に、同発電所から放出される放射性物質の状況を監視していますが、これも大きな変化がなく、安定していることを確認しています。

1～3号機原子炉建屋からの放射性物質（セシウム）の一時間当たりの放出量 （原子炉建屋上部などの空気中の放射性物質の濃度を基に評価）



出典：東京電力(株)福島第一原子力発電所1～4号機の廃止措置に向けた中長期ロードマップ進捗状況(概要版) 2012年7月30日 原子力災害対策本部 政府・東京電力中長期対策会議運営会議

※：東京電力（株）「福島第一原子力発電所構内でのモニタリングポスト計測状況」
<http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1/index-j.html>

出典：復興庁「避難住民説明会等でよく出る放射線リスクに関する質問・回答集」より作成

出典の公開日：2012年12月25日

本資料への収録日：2013年1月16日